

第 183 回例会報告～1 「春スキー」 HaksanView 大日ヶ岳 1708.9m

1. 期間

2015年3月20日(金)～3月22日(日)

2. 参加者: (#)は卒業年度

豊田寿夫(8)、井上達男(18/リーダー)、和光広典(19)、山口幸久(21)、居谷千春(22)、
橋本 昭 (KUAC,HNA)

3. 場所

岐阜県郡上市高鷲町の井上邸をベースに近辺のスキー場と大日ヶ岳の山スキー

4. 行動記録

3月20日 入山とスキー練習 (晴)

豊中市を 8:00 に出発した居谷車(山口同乗)と和光車(橋本同乗)は豊田を JR 岐阜羽島駅でピックアップした後、東海北陸自動車道を北上して12:00までに郡上市 HaksanView の井上邸に集結した。昼食のあと同市の東に連なる鷲ヶ岳スキー場で足慣らしの練習をした。西日を受けて斜面の雪が腐りコンディションは悪く、15:30 に引き揚げた。



夜はホストの井上リーダー手作りカルパチオに舌鼓を打

った。高速道の開通で日本海が近くなり、大皿には富山湾の寒ブリを含む新鮮な北陸の海の幸が盛り込まれていた。

3月21日 山スキーと高鷲スキー場 (晴)

8:30 井上邸を車で出発、高鷲スノーパークでの準備の後 SP ゴンドラで山頂へ。ロープウェー終点を 9:30 に出発、全員シールをつけて 1574m のピークを登る(山口は前大日ヶ岳で retire)。大日ヶ岳頂上には先発パーティー(井上・橋本・居谷)は 10:30 までに登頂(和光と豊田は若干遅れて 10:45 までに到達)。頂上から北東方向には白山が山名の通り真っ白に見える。天候にめぐまれたこともあり、スキー又はボードを担いだパーティが簡易アイゼンで続々登ってきた。



白山連峰の大パノラマを満喫 大日ケ岳 1708.9m 頂上にて(居谷撮影)

帰路は同じルートを、先発メンバーは頂上発 11:05、途中山口と合流して、11:35 ゴンドラ乗り場に帰着した。豊田は大日ケ岳の南西の雪面を横滑りで下り、若干遅れて山上テラスに合流した。

午後は、高鷲スノーパークのゲレンデでスキー練習であった。まず、当地は初めての居谷・山口を含む全員で北側のパノラマ・コースを下りパーク全体を俯瞰した後、それぞれの技量に応じて分散して練習した。豊田は広幅の山板・山靴ゆえ中央部の傾斜が若干緩いダイヤモンド・コースとリフトを使った。全長 2km(公称)と長く、午後になって山影になって雪質がザラメに変わり山スキーの練習には好適で、15:00 まで滑降を楽しむことができた。

3月22日 休養日(晴) 白山街道に行く



東海北陸自動車道の清見 IC を出て白山街道に入り、東に向かう。高山市の西域の荘川で温泉を浴び

る。周りを快晴の奥飛驒の山々に囲まれ、残雪が厚く残る野天風呂は野趣に富み、2日間の山スキーの

疲れをいやしてくれた。荘川の“一色の庵”飛驒名物の蕎麦を味わった。

帰路は井上リーダーとここで別れ、車2台は中部縦貫道の荘川 IC から岐阜県に向かった。

)

5. あとがき

今回の春スキーはこれまで常連だった高齢者 OB(昭和 30 年代後半)の参加がなく、後期高齢者 1 人

と一回り年齢差のあるメンバーの組合せとなってしまった。その中には当地初めての 2 人も加わり、楽しい山行であった。近辺のスキー場は高度もあり、雪も豊富で山スキーに備えての練習も容易なことに加え、ケーブルの終点から直接山スキールートにつながるという便利さもそなわっている。



ACKU の歴史を振り返ってみると“スキー”の位置付けは決して確立したものではなかった。例えば、昭和 30 年代をとっても、その前半ではスキー技術の訓練と取得・向上には注意が向けられたとはいえない。ある程度年齢が進んでから、スキーを再開しようにもそのきっかけがつかめられない OB もいるはずである。

近年のスキー用具の進歩は著しく、高齢スキーヤーへの指導方法も改善されてきている。当地はこのような OB を温かく迎えてくれる施設と対象ルートが備わっている。シニアOB の春スキーへの参加を促したい。

なお、この山行は井上リーダーの全面的な援助により可能になったものである。特に、自宅を提供し、料理等全面的なご支援をいただいた涼子夫人に感謝します。

記録作成：豊田寿夫

☆☆

第 183 回 ACKU 例会報告～2

幹事:井上達男

今冬は寒暖の差が大きくつい先週には 1m の降雪が古い根雪の上に積もり、それが雨と陽気で今度はほとんど解けてあちこちに地肌がみられるようになった。HaksanView にもおそまきながら春の気配が感じられるようになり、少しばかりの蕨の薹が手に入り、参加者に山菜初物、蕨の薹味噌を味わってもらった。今回の食事はカレー、カルパッチオ、鶏鍋、おでん、飛騨牛と恵那豚の鉄板焼き、そして朝食にはパン、コーヒーに荘川桜卵とひるが野特性ベーコン、鶏の胸肉の燻製など、変化に富んだメニューで臨みました。参加者の皆様は合格点を出してくれたのでしょうか。

21 日の大日ヶ岳 1708.9m 登山は高鷲スノーパークのゴンドラにてアプローチ、豊富な残雪も良く締まって暖かい日差しが雪面を柔らかくしてくれ、シール組も徒歩組も足取りは軽やかであった。最年長の豊田先輩も本峰山頂に立たれた。病み上がりの山口は慎重に足慣らししながら前大日のピークを踏んだ。今後も例会参加を続けてパワーを取り戻してくれよう。

初日「鷲ヶ岳スキー場の温泉」、土曜日は「湯の平温泉」、最終日は荘川「桜花の湯」と温泉三昧だっ

た。

◇参加者: 豊田寿夫 和光広典 山口幸久 居谷千春 井上達男(幹事) 橋本昭(HNA)

◇活動概要

2015年3月20日(金) 12:00 HaksanView 集合 昼食後鷲ヶ岳スキー場にて足慣らし

2015年3月21日(土) 大日ヶ岳 1708.9m スキー登山 午後高鷲スノーパークにてスキー

9:30 ゴンドラ終点出発

9:50 前大日急斜面取付き

10:17~11:00 大日ヶ岳 1708.9m 頂上

11:10~11:15 前大日

11:20 高鷲スノーパーク頂上レストラン

2015年3月22日(日) 荘川式部の庵にて十割蕎麦昼食後解散

◇参加者コメント

☆山口幸久

井上さん、涼子さん

大変お世話になりました。初めての HaksanView 気に入りました。流石ですね。また、次回はシャンパンと穴子を持って訪れさせていただきます。そして、同行の皆さん有難うございます。大日岳には登れませんでした。十分初期の目的は達成できました。これからの課題も見つかり、今後は楽しみになってきました。朝から案の定、筋肉痛と神経痛なので今マッサージに行ってきたところです。ぼちぼちとやって行きますので、これからもお付き合いよろしくお願ひします。



3/20 鷲ヶ岳スキー場山口・居谷



3/20 鷲ヶ岳スキー場井上・山口



3/20HaksanViewにて和光・豊田



3/21 高鷲スノーパークゴンドラ



3/21 前大日目指して・居谷・橋本・豊田



3/21 出発ーシール登行



3/21 スキー場を離れて・豊田



3/21 前大日へ・居谷千春



3/21 前大日 大きな亀裂が出来ている



3/21 前大日の急斜面を登る橋本



3/21 前大日を背に登る登山者



3/21 鎌ヶ峰



3/21 大日ヶ岳 1708.9m 頂上と白山



3/21 石徹白の山々



3/21 鎌ヶ峰



3/21 大日ヶ岳 1708.9m 頂上・居谷・橋本



3/21 頂上・井上・橋本



頂上・井上・居谷



3/21 頂上-和光



3/21 頂上-豊田



頂上-居谷-鎌ヶ峰バック



3/21 前大日-橋本-山頂を背に



3/21 前大日-山口-滑降準備



3/21 前大日・滑降準備・橋本・居谷・山口



3/21 前大日・山口・滑降



3/22 荘川蕎麦所・五連水車にて



3/22 式部の庵・十割蕎麦



3/22 お雛様 式部の庵

以上

